

※紙面の関係上、抜粋かつ加除修正していることをご了承ください。

・学力も大切ですが、そもそも子供達が学校に行きたくなくなるようなワクワク・ドキドキにも注力して頂ければ、自然と子供達の学びへの向き合い方がより良くなっていくのではないかと思います。週に一度、子供達の学びたい事を学ばせてあげる時間を設けたりだとか、この曜日は絶対学校に行きたいと思えるイベントを企画したりなど、なぜ学校に行くのか何のために学ぶのかを少しでも自分達で楽しく見つけさせてあげられるようサポートして頂けたらと思います。

◎学級担任も工夫を重ねながら授業づくりを行っています。コロナ禍の状況が続く中でも行なえるような行事等を考えていきます。

・各テスト前には復習という形で子ども達と基礎基本を確認してから行ったり、漢字10問テストを日常の一部として行って頂きありがとうございます。また日々のホームワークノートへ活かす為に各教科のポイントやワードを子ども達に時々で構いませんので与えて頂けると毎日のホームワークの充実、復習につながるのではないかと思います。自分自身でホームワーク出来る子供もいると思いますが、時間ばかりかかって何をしたらいいのかわからない子供にとっては前向きに取り組めるのではないかと思います。本来であれば自分の力でノートをまとめるのが大切なことと思いますが、少しでも充実したノートになればと思い書かせて頂きました。いつも子ども達のそれぞれの個性を理解し、工夫した授業して頂き先生方には感謝しております、ありがとうございます。

・長期休みの時にある自由研究等が市内で無い学校と有る学校と分かれています。市内で統一しないのですか？統一出来ないのであれば、子供達の意味で自由参加という形になりませんか？

◎長期休業の自由研究は子供たちの自由意思による参加になっています。周知不足をお詫びします。

・噂を流された時、放課後や帰り道などの事は自分達で何とかすると言われ、解決に1ヶ月以上かかった。学校の先生の非は全くないが先生が一言、相手の親に注意してくれたらもっと早く解決出来たかも知れない。

・項目No.3 上級生の生徒が下級生に対しての言動について。家庭での問題も大きいと思うが、学校では、具体的にどう言った指導を行っているのかを教えていただきたい。

◎一度の指導で終わることなく、指導後も定期的に声掛けを行っております。また、複数学年での問題については、学級担任だけでなく、生徒指導部が中心となって話を聞き、指導することになっています。

その他・学校への要望等

・先日のお便りによると、今も嫌な思いをしている子が58人もいたにも関わらず、いじめと認定したのは1件のみのことでした。嫌な思いをしていると申告した人数に比していじめと認定された件数が少なく、違和感を覚えました。

・放課後など、子供達が家や公園以外でも交流を持てる場を、地域と協力して作って頂けたら、もっと町内の方と子供を守る意識を共有できるのではないかと思います。読書に対する取り組みが少し不十分な気がするので、登校してきてから授業始まる前に朝読書の時間を設けたり、保護者・地域の方と協力して図書室を充実させたりしながら、子供が身近に本と接する機会を短期的にではなく長期的に取り組んでほしいと思います。

・給食の時間、栄養教諭による児童1人1人への、一口でも良いから食べなさいという、声かけは必要ないです。やるなら、クラス全体に対して、言うだけで良いと思います。給食を食べたくても食べられない子がいることを分かってほしいです。より一層給食に対して苦手意識を持つ子もいることを理解して頂きたいです。

・設問にはありませんが、記名章について1年を通して毎日つける必要はないように思います。服に穴があいたり、毎年購入するのも家庭の負担もあるので記名章廃止できないでしょうか？

・関係ないのですが、先生や担任がいつもイライラしていて子供達が怖い思い嫌な思いをしている。というのを毎回毎回聞きます。学校に行く事がストレスだとも言います。

◎現在も嫌な思いをしている児童については、本人および保護者にいじめの認定について確認をとっていますが、いじめの認定については1名のみとなりました。ただ、子どもたち一人一人との教育相談で子どもの気持ちや意見をしっかり聞きながら、日常的な声掛けを丁寧に行って指導を行き届かせていきます。

◎地域や町内会と連携した取組が行えるように各町内会に働きかけていきたいと思います。

◎読書については、11月の読書月間での取組成果もあり、貸出冊数も1月末現在でおよそ17000冊となっていて、昨年よりも5000冊以上増えています。学校では、給食準備中や休み時間・国語の授業で読書に取り組んでいます。ご家庭でもお声掛けいただければ幸いです。

◎給食時の「一口チャレンジ」については、食べる力を育てる指導で行っています。栄養教諭と担任が連携して、一人一人に配慮しながら行いたいと思います。指導に対する個別の要望がありましたら、担任に連絡してください。

◎記名章については、業者との関係もありすぐに廃止できないので、時間をかけて検討し次年度中に決定していきます。

◎教職員へのご指摘ありがとうございます。教職員がお子様へ与える影響の大きさを今一度全体で確認し改善に努めていきます。

お褒めの言葉

・小学校の先生という極めて大変な立場で、毎日子供達を思っ下さる先生方には感謝しかありません。どうか、雑務等の分業がすすみ、先生方の負担が少しでも軽減されることを願っております。子供達は、楽しそうに学校に通っているのも私も嬉しく思っております。

・校長先生をはじめ、諸先生方のおかげで、保護者として安心して子供を学校へ送り出すことができます。どうもありがとうございます。毎日お忙しいとは存じますが、今後ともよろしくお願いいたします。

◎学校や職員、その他多くのことにお褒めの言葉を頂きまして本当にありがとうございます。これらの言葉がとても励みになります。これからも頑張っていきたいと思います。

たくさんの貴重なご意見や要望等をいただきました。あらためて感謝申し上げます。

アンケートに限らず日常からお気付きの点は学校へ伝えていただきたく再度お願いさせていただきます。

ご意見や方策の中で取り入れることが可能なものには、順次取り組んでいきますので今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

次年度もコロナ禍の状況により、通常の教育活動に様々な制限が加えられることが予想されます。学校は、その状況に応じて最善を追求し、保護者と連携して取り組んでまいりますので、よろしくお願いいたします。